

## 絆



日本ガイシ株式会社  
代表取締役社長 大島 卓

私は今年で還暦を迎えますが、いくつになっても昔馴染みの友人というものはかけがえの無い存在です。昭和47年に都立国立高校サッカー部の1年生だった同級生と、2年生、3年生だった先輩計8人で結成した「四七会」は、今年で40周年を迎えます。何故か私以外は皆文化系で銀行、保険、メーカー、海運会社など様々な分野で活躍しており、自分とは違ったフィールドで働く仲間のお話を聞くのはとても新鮮で、良い刺激をもらっています。運動部ゆえの上下関係の規律を残しつつも温かみのある仲間達で、一番下の学年だった私は今でもゴルフ会や懇親会の幹事役。忙しい合間を縫って毎年2～3回集まり、サッカーの昔話で盛り上がり、いつも時間を忘れてつい飲み過ぎてしまいます。

そんな四七会の仲間、思わぬところで助けてもらう事がありました。2011年の東日本大震災の時です。当社の主力開発品であるNAS電池に使用するセラミック部品の原材料の一つを、ある化学会社の福島県内の工場から仕入れていた為、供給ストップによる操業停止危機に見舞われました。当時、私はNAS電池の事業責任者。たまたま四七会の先輩がその化学会社の役員をしており、無理を承知で電話をしました。当時はどこの会社も原材料供給がストップする危機に見舞われ、我先にと供給メーカーに対応策をお願いしていました。その先輩は直接当社との仕事関係の繋がりは無かったのですが、社内調整に奔走してくれ、真っ先に名古屋工場での代替生産にこぎつけてくれました。あの当時、日本中の誰もが大変な状況下、無理難題を聞いて助けてくれた先輩には今でも感謝の気持ちで一杯です。若い頃に汗だくになって苦楽を共にした仲間はかけがえのない財産です。

私は2014年に日本ガイシの社長に就任して以来、グループ会社を含めた国内外の全拠点を鋭意飛び回っています。先日、私が米国駐在中に設計した生産設備がまだ稼働している工場を訪問する機会がありました。そこでは、かつて共に苦勞して設備を立ち上げたアメリカ人の同僚に25年ぶりに再会することもでき、改めて素晴らしい仲間達に支えられて今の自分があることを再認識しました。これからも人との絆を大切にしていきたいと思えます。